

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233131111	教育課程論 Theory of Educational Curriculum	近藤 茂明		教職	2	選択	3前期

科目の概要

本授業では、自立した社会人として常に自己研鑽に取り組み、自らの感応性を高めて社会に貢献する教師の資質能力の育成を目指し、教育課程に関わる基本的概念・内容を理解させる。総論部分は日本の教育課程や学習指導要領の歴史の変遷とその特徴ならびに諸外国の事情等を取り上げる。各論部分は教育課程の周縁的要素と実際の学修活動等を取り上げる。また、毎授業の進め方は基礎的内容の理解を土台として行い、必要に応じて適宜話し合い活動等を取り込んで、衣食住および地域活性に関連する実践的な理解の習得や主体的な態度の育成にもつなげていく。

学修内容	到達目標
① 学習指導要領を中心とした教育課程に関する基本的概念・内容を理解する。 ② 基礎的内容の理解を土台として、実践的な内容を通じた具体的な学修活動（体験）を行う。 ③ 話し合い活動や文章等の言葉による表現活動を通して、自他の考えを深め合う。	① 教育課程論をめぐる基本的な内容や考え方を理解し、今日的課題と結びつけて考察することができる。 ② 教師の力量向上に必要な資質能力について、具体的な学修活動（体験）を通して気づくことができる。 ③ 集団的な学修活動を通して様々な考えを比較し、自分の考えを言葉で整理して表現することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	自分自身の被教育経験、実生活、様々な関心と結びつけながら、学修活動に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分の願いに沿った目標設定を行い、根気よく学修活動に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題だけにとらわれることなく、自ら新たな課題を見出すことができる。
	計画力	
	創造力	学修課題等に対して柔軟で多様な考え方をもって取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループワークや全体発表において、自分の考えを整理して表現することができる。
	傾聴力	グループワークや全体発表において、他者と自分の考えを比較しながら、より深い考えを導き出すことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻や私語等、授業に支障をきたす行動を自粛して、円滑な学修活動を心がけることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：教科書は特に使用しない。（毎授業開始時に必要なプリント類を配付する）
 参考書：文部科学省『中学校学習指導要領』（平成29年3月最新版）

他科目との関連、資格との関連

本科目「教育課程論」は教職科目として配置され、教職入門・教育原理（1年）において基礎的理解を図り、その後に履修する教育方法論（2年）・総合的な学習の時間の指導法（3年）において専門的理解を深め、教育実習（4年）において実践的理解へと発展させていく。
 関連する資格：中学校ならびに高等学校教諭一種（家庭）

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 毎授業中のグループワークや全体発表では、積極的な意見交流を心がけるとよい。 毎時間の学修内容は、予復習（課題）において関連する情報収集を積極的に行うとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎授業で配付する学修資料の予備は前回分しか保管しないので、忘れた際には出席者にコピーをもらう、または担当教員から受け取る。 授業開始時には必ず携帯電話の電源を切るとともに、授業に向かう気持ちの切り替えを行う。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 設問内容の趣旨を理解し、授業内容をふまえて自分の見解を論理的に展開し、記述しているかを評価する。 以下の4項目の記述ポイントを合格の基準とする。 授業内容を基に記述しているか。 論点を整理して記述しているか。 自らの被教育（学習）経験をふまえて記述しているか。 自ら考えた代替案等を具体的に提示しているか。 （4項目＋独創性＝S、4項目＝A、3項目＝B、2項目＝C、1項目以下＝F）
			②		
			③		
学修成果	小テスト	0	①		
			②		
			③		
学修成果	平常評価 レポート	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 毎授業の最後に振り返りとして行う小レポートの点数を平均して判定する。 （授業内容をふまえ、自分の考えをどこまで整理し深めることができたかを判定する）
			②	✓	
			③		
学修成果	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	10	①		<ul style="list-style-type: none"> グループワークや全体発表等における表現内容・方法の明確さを評価する。 話し合い活動を高めていくための意見発表等における貢献度も判定として加える。
			②	✓	
			③	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性） ・学修課題を自分自身の経験や関心に引きつけて取り組むことができる。 （実行力） ・明確な目標設定を行い、それに向かって根気よく取り組むことができる。 （課題発見力） ・与えられた課題を広げ深め、自分自身の課題として発展させることができる。 （創造力） ・他者の考えを柔軟に受け入れ、多様な学修活動に取り組むことができる。 （発信力） ・自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝えることができる。 （傾聴力） ・相手の考えのよさを受け入れながら自分の考えを深めることができる。 （規律性） ・遅刻や私語を自粛し、円滑な学習活動を創り出すことができる。
			②		
			③		
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験において、論点を明確に整理して、自分の考えを論理的に記述できている。 小レポートにおいて、該当授業の要点を的確にまとめ、焦点を絞って自分の考えを振り返ることができている。 話し合い活動や発表において、他者を受け入れながら、多様な考えを表現することができている。 授業参加において、全体の学修活動の高めていこうとする積極的な態度をもって授業に貢献することができている。 提出物に対する取り組みにおいて、学修を深めようとする姿勢ならびに成果を確実に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験において、論点をふまえ、自分の考えを記述できている。 小レポートにおいて、該当授業の内容に触れ、自分の考えを振り返ることができている。 話し合い活動や発表において自分の考えを整理して表現することができている。 授業参加において、自分自身を自制した態度で、学修活動に取り組むことができている。 提出に対する取り組みにおいて、提出期限を守って進めている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<ul style="list-style-type: none"> 本授業の全体概要と進め方、留意事項を理解する。 教育課程(カリキュラム)のイメージについて考える。 Classroomの活用法を確認する。(連絡・情報共有等) 	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス 話し合い活動 グループワーク(随時) 講義 質疑応答 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程のイメージをもつことができる。 	(予習) シラバスに目を通し、本授業全体の概要を理解する。 (復習) 自分自身の被教育経験を振り返り、教育課程のイメージを整理する。	90	主体性 規律性
2	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程の基本的概念や枠組みを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習フィードバック 講義 グループワーク(随時) 質疑応答 Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程の基本的構造を理解することができる。 	(予習) 教育課程の仕組みについて関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	主体性 課題発見力
3	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程の歴史(日本の明治期・大正期)の概要を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習フィードバック 講義 グループワーク(随時) 質疑応答 Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代教育史における教育課程のあり方に関心をもつことができる。 	(予習) 近代(明治・大正期)の教育について関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	主体性 課題発見力
4	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領①(改訂に伴う歴史的変遷)の概略を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習フィードバック 講義 グループワーク(随時) 質疑応答 Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の変遷の大きな流れを理解することができる。 	(予習) 学習指導要領の変遷について関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	課題発見力 創造力
5	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領②(ゆとり教育)について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習フィードバック 講義 グループワーク(随時) 質疑応答 Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導教育におけるゆとり教育の意味を理解することができる。 	(予習) ゆとり教育の意味について関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	主体性 課題発見力
6	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領③(主体的・対話的で深い学び)について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習フィードバック 講義 グループワーク(随時) 質疑応答 Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びに対する自分の考えをまとめることができる。 	(予習) アクティブラーニングについて関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	主体性 課題発見力
7	<ul style="list-style-type: none"> 外国の教育制度(フィンランド)の概略を教師教育の視点から整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習フィードバック 講義 グループワーク(随時) 質疑応答 Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> フィンランドの教育制度の特徴を理解することができる。 	(予習) フィンランドの教育の特徴について関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	主体性 課題発見力
8	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程の周辺①(教育の情報化)について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習フィードバック 講義 グループワーク(随時) 質疑応答 Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程と教育の情報化との関係を理解することができる。 	(予習) 教育の情報化について関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	主体性 課題発見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・教育課程の周辺②(評価)について検討を加える。(例えば、ポートフォリオ評価)	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・学習に応じた多様な評価の在り方に気づくことができる。	(予習) ポートフォリオ評価について関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	主体性 課題発見力
10	・教育課程の周辺③(カリキュラムマネジメント)について考える。	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・教育課程における評価の意味に関心をもつことができる。	(予習) カリキュラムマネジメントについて関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	主体性 課題発見力
11	・教育課程に関わる学習形態①(多様性の視点)について考える。(反転学習)	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・教育課程を支える多様な学習形態があることを理解することができる。	(予習) 反転学習について関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	主体性 課題発見力
12	・教育課程に関わる学習形態②(オルタナティブな視点)について考える。(シユタイナー教育)	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・オルタナティブな教育の在り方に気づくことができる。	(予習) シユタイナー教育について関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	主体性 課題発見力
13	・教育課程に関わる課題①(総合的な学習の時間)について考える。	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・教育課程における総合的な学習の意味を理解することができる。	(予習) 総合的な学習の時間について関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力
14	・教育課程に関わる課題②(ジェンダー教育)について考える。	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・教育課程が抱える様々な課題を理解することができる。	(予習) ジェンダー教育について関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の授業内容を整理し、さらに深める課題を見つけて調べ学習を行う。	180	実行力 課題発見力 傾聴力
15	・本授業全体の総括として、教育課程のあるべき姿について自分の考えをまとめる。	・予習フィードバック ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・教育課程の今日的課題に対して、自分の関心をもって考えることができる。	(予習) 本授業全体に関心をもったことに対する自分の考えをまとめる。 (復習) 本授業全体の学修内容をノートにまとめる。	180	実行力 課題発見力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力